

交通安全対策協議会功労者表彰

香々美在住の藤田弘昭さんが岡山県交通安全対策協議会から交通安全功労者表彰を受賞され、6月9日(火)に鏡野町役場応接室において表彰式が行われました。

この表彰は、多年にわたり交通安全活動に顕著な功績のあった個人、団体に対し岡山県交通安全対策協議会会長が表彰するもので、藤田さんは昭和51年から鏡野町の交通指導員として通学・通勤路での街頭活動や、児童・高齢者に対する交通安全指導をはじめ、住民等に交通事故防止を呼び掛けるなど、交通事故防止及び交通安全意識の普及・高揚に多大な貢献をしたことが評価されました。



フェイスシールド寄贈

6月5日(金)、鏡野町役場応接室において、株式会社メンバーから無償提供されたフェイスシールド200枚が町内の医療機関へ贈呈されました。このフェイスシールドは株式会社メンバーの「アウトドア義援隊」より、医療現場で働く方々の飛沫感染リスクの軽減等に役立てていただきたいということで提供されたもので、町内の各医療機関へ非接触型の体温計と合わせて贈呈されました。

贈呈にあたり山崎町長から「医師の先生方は町民の最前線で働かれている方々ですので、安心して診療がしていただけるようにお渡し願えればと思います」と話がありました。

フェイスシールドを受け取った苫田郡医師会会長の武田正彦さんは「診療にあたる医師もだが、歯科の先生は特に飛沫を浴びやすいのでフェイスシールドは必需品となりますので、大変ありがたいと思います」とお礼を述べられていました。



岡山県建設業協会寄贈

6月4日(木)、鏡野町役場応接室において、岡山県建設業協会津山支部より新型コロナウイルス感染症に対する寄附金の贈呈が行われました。

田村支部長をはじめ役員3名が来庁され寄附金 hands 渡されると、山崎町長は「大勢の方が心も体も疲れています。町としても病院や先生、子どもたちに対していろいろなところでこの寄附金を大事に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べられていました。



SDGs 私募債発行記念式典とドローンについての特別授業

6月10日(水)、福田農機株式会社が津山信用金庫のSDGs 私募債「ちいきのミライ」を通じてドローンの贈呈及びドローンについての特別授業が南小学校において行われ、5、6年生の児童が参加しました。

SDGs 私募債「ちいきのミライ」とは、地域における持続可能な社会を実現することに加え、信用金庫取引先のSDGsの達成に向けた取り組みを支援することを目的に2020年1月より取り扱いを開始したものです。

式典では、ドローンについての解説や、規格ごとの用途について説明が行われ、その後の特別授業で実際にドローンの操作に移りました。

授業では福田農機株式会社の職員がテスト飛行を行うと、ドローンが実際に飛び立つ様や飛行の様子を児童たちは歓声をあげながら見ていました。テスト飛行が終わると、5、6年生の各クラスの代表者達が実際にドローンを操縦しました。職員の指示に従いドローンを動かしてみると、操縦している子どもたちはその精密な動きに驚きの表情を浮かべていました。

先端の技術に触れることで、児童たちはとてもよい経験ができたようでした。

